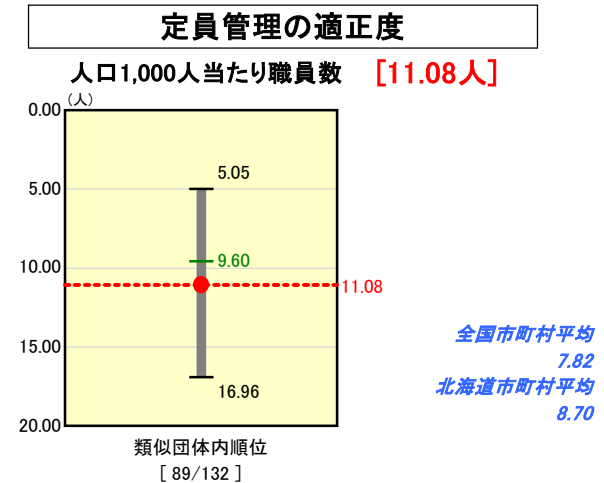
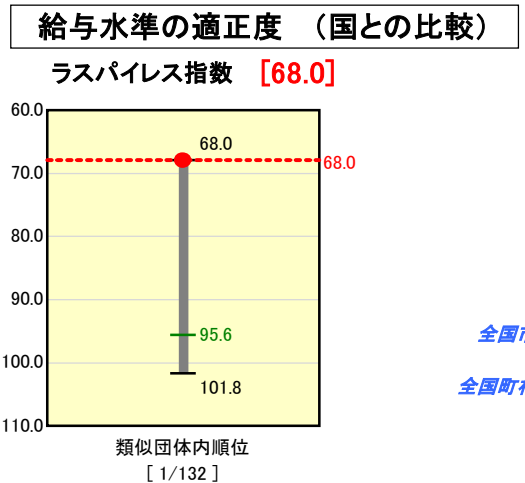
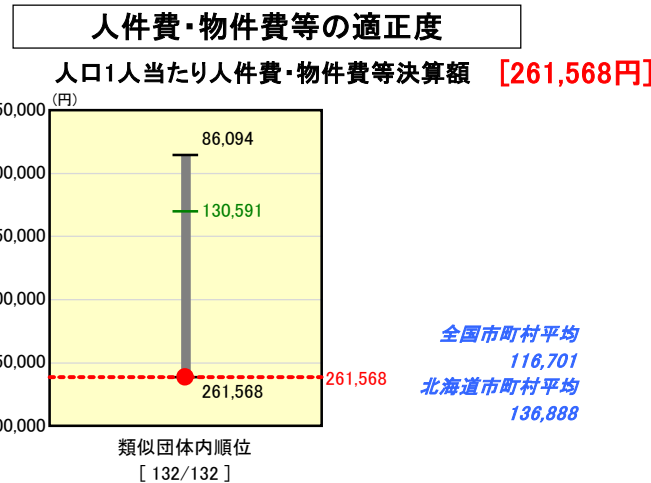
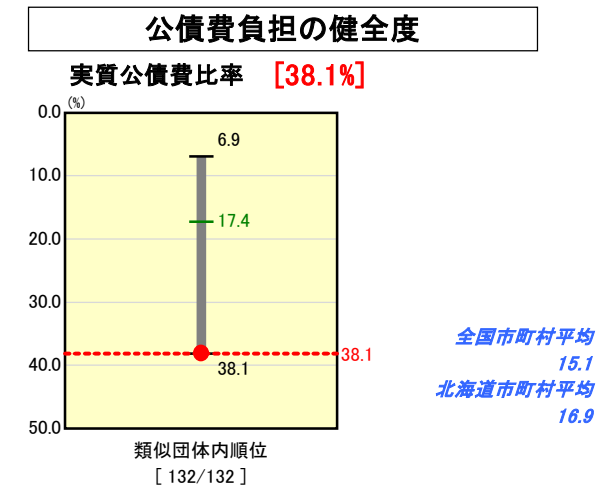
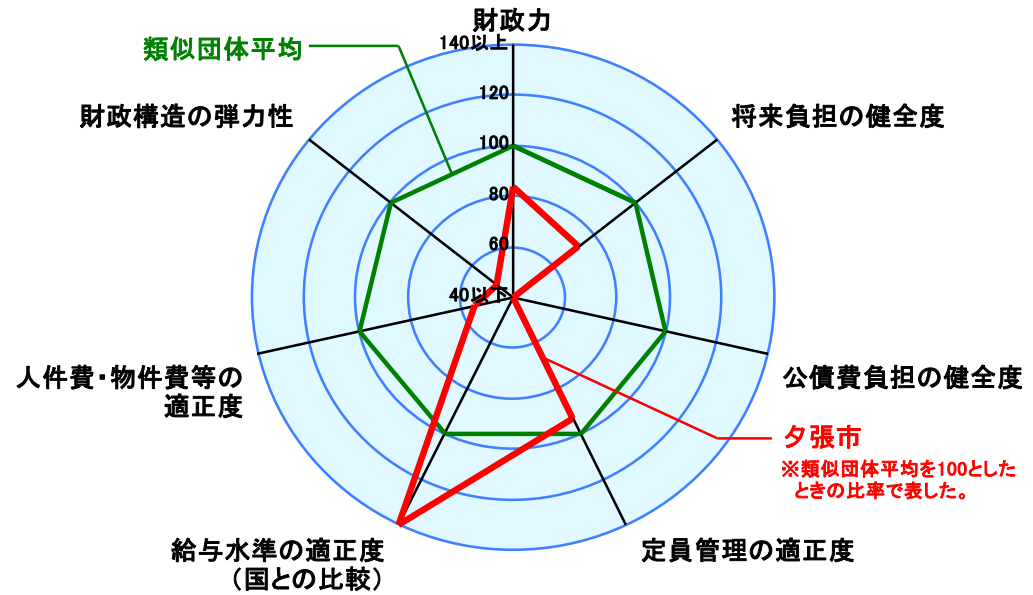
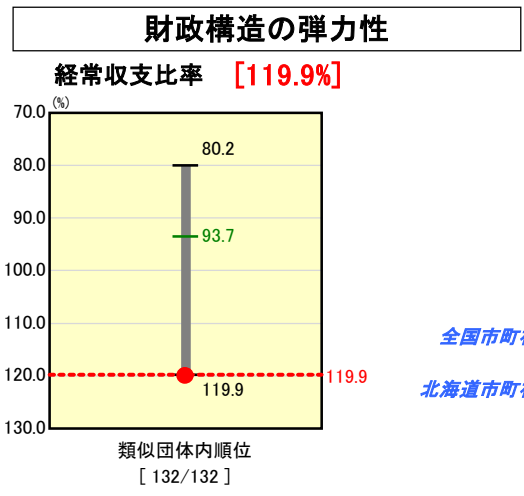
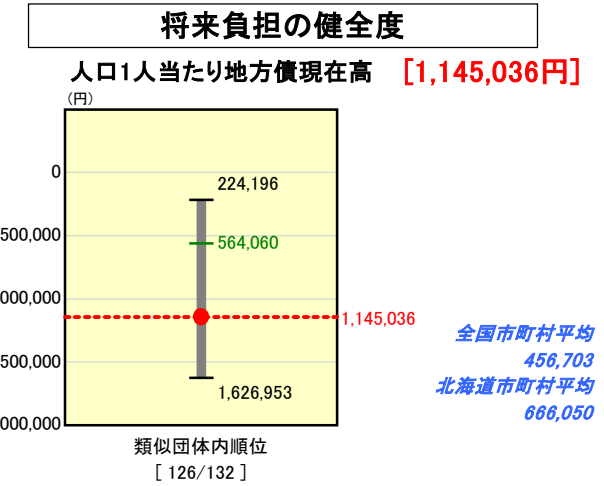
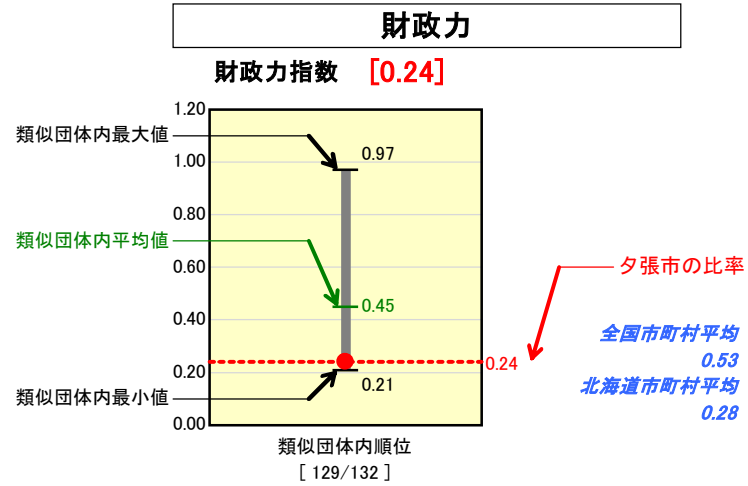


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 夕張市

人口	12,631	人(H19.3.31現在)
面積	763.20	km ²
歳入総額	22,960,869	千円
歳出総額	57,919,834	千円
実質収支	-34,959,395	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
相次ぐ炭鉱閉山による人口の激減や40%を超える全国都市で最も高い高齢化率に加え、炭鉱に代わる産業の育成が進まなかったことなどにより、税収が伸び悩むなど財政基盤が脆弱な状況にあるため、財政力指数は類似団体の中でほぼ最低水準にある。平成18年度に策定した「財政再建計画」に基づき、税や使用料などの徴収率向上対策・ごみ処理の有料化などによる歳入確保、全国で最も効率的な水準となるよう徹底した行政のスリム化と事務事業の抜本的な見直しによる歳出の削減などの取組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率:
炭鉱閉山による人口の激減に比較して、職員数の削減が遅れたために、人件費の抑制が不十分であったこと、また、炭鉱閉山後の社会基盤整備に多額の経費を要し、その財源を地方債に依存したことから、公債費負担が増大するなど、歳出経常一般財源が多額となっている一方、歳入においては、人口の減少・進出企業の停滞などから税収等、経常一般財源が減少しており、経常収支比率は全国で最も高い状況となっている。今後は、「財政再建計画」に基づく行政改革により、5年以内に類似団体平均を下回るよう改善に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
炭鉱閉山による人口の激減に対して、人件費の計画的な抑制が不十分であったことに加え、地理的要因により、多くの公共施設が各集落に点在しているため、維持管理経費が嵩んでいる。「財政再建計画」の確実な遂行により、各種経費の抑制に努める。

実質公債費比率/人口1人当たり地方債現在高:
炭鉱閉山後の社会基盤整備に多額の地方債を発行したために、公営企業債の元利償還金に対する繰入金などの準元利償還金を含め、その負担額が多額となっていること、さらに多額の赤字を抱えたことによる一時借入金利子の増大が主要因となり、実質公債費比率は類似団体で最も高く、そこに人口の激減が重なり、1人当たり地方債現在高も高水準となっている。普通建設事業は真に必要な事業以外は実施しないこととし、地方債の新規発行を抑制するとともに、公的資金の借換などにより公債費負担の軽減に努めていく。

ラスパイレース指数/人口1,000人当たり職員数:
平成18年度に策定した「財政再建計画」に基づき、退職者不補充・勸奨退職制度による職員数の適正化、基本給の平均30%削減などを実施したことにより、類似団体に比較し、ラスパイレース指数は最低水準(前年度比△21.1)、人口1,000人当たり職員数は前年度最高水準から平均をやや上回る程度(前年度比△9.27)に改善されている。